

鎌倉 ハートナース



(旧華頂宮邸と寒牡丹/ 西畑直樹)

鎌倉市市民活動センター 広報紙 第85号 平成29年12月発行(季刊)

発行/編集: 鎌倉市市民活動センター

<http://npo-kama.sakura.ne.jp/ce/index.html>

リレートーク No.5

こんな市民活動しています!



大津定博さん

鎌倉ガーディアンズ 代表

<http://kamakuraguard.jimdo.com>

リレートークとは: 鎌倉市で市民活動に取り組む人とその団体にスポットをあて、活動の様子を紹介するコーナーです。鎌倉らしい活動をされている方、地道にコツコツと頑張っておられる方がお近くにいらっしゃいましたら、リレーの輪に加わっていただきたいと思っております。是非、お知らせください。

～自分たちの愛する街を自分たちの手で守る～

私達は「自分たちの愛する街を自分たちの手で守る」という理念の元に活動する防犯・防災団体です。平成21年7月に「鎌倉花火大会の警備をボランティアとして助けて貰えないか?」との行政からの要請を契機に結成しました。同年に来日されたオバマ大統領の鎌倉大仏様への訪問時の警備を担い、民間ボランティア団体として初の県警本部長感謝状を授与されました。現在はメンバー120名を擁する県内最大規模の組織になっております。

当団体の活動は、①多数の観光客が訪れる市内のイベント(流鏝馬など)や寺社の祭事、自治町内会のまつりの警備 ②県立近代美術館や旧世界遺産登録候補地の文化財の見守り ③一般のご家庭を対象とした地震時の家具転倒抑止の突っ張り棒の無料取り付け作業など多岐にわたります。制服のカラーは黒色で、黒子に徹する事をイメージしています。今日まで大きな事故やトラブルも発生することもなく活動しています。

昨年2月に、東日本大震災から5年目を迎える被災地の「震災遺構の日帰りツアー」を企画して60名の市民とともに東北を訪れました。また本年7月には、昨年発生した熊本地震の被災地を50名で訪ねるツアーを企画しました(九州北部豪雨被害と重なり延期)。これらの企画を通して常に防災に対する決意を新たにしております。

一方、2020年東京オリンピック・パラリンピックを支えるボランティアの整備を進めている政府(内閣官房)から、警備マニュアルの提出の依頼を受けています。鎌倉で積み重ねたノウハウが、世界の舞台で役立つかもしれません。私達は鎌倉にお住まいの方や鎌倉にお越しになられた方に、この地が日本一安心安全な街だと実感していただく事を目指して活動を続けています。メンバーを常時募集中です。様々な人や風景や祭事との出会いもあり、楽しく無理なく長く続けられる活動です。ボランティア初心者の方、シニア世代や主婦の方も大歓迎です。

平成29年度 第2回 利用登録団体懇話会を開催しました

去る9月30日(土) たまなわ交流センター2階で利用登録団体懇話会が開催されました。懇話会では鎌倉市市民活動センター運営会議/研修部会の企画による講演会とワークショップを中心にして、鎌倉の「観光」「文化」「まちづくり」「国際交流」「コミュニケーション」などについて参加者同士の活発な意見が交わされました。



(講師のヴィッキーさん)

講演会では「外国人にやさしい鎌倉のまちづくりのために市民活動は何ができるか」と題して、講師のヴィッキー・バイヤーさんから外国人の目で見えた鎌倉の魅力をお話いただき、今後ますます増えることが予想される旅行者にとって不便なところやせつかくの魅力が伝わりにくいところなど、まちの課題を提示していただきました。ヴィッキーさんのユーモアあふれる語り口に会場からは時折笑いが起こり、終始和やかな雰囲気の講演でした。

◆講師プロフィール Vicki L. Beyer 米国ネブラスカ州出身。一橋大学大学院国際企業戦略研究科経営法務教授。企業の雇用問題専門弁護士として活躍する一方、フリーランストラベルライターとして過去から現在まで人々と場所の関係性に興味を持ち、鎌倉のガイドブックなど日本での生活と旅行の経験を書き綴っている。

講演後のワークショップでは6つのグループに分かれ、ヴィッキーさんから投げかけられた「まちの課題」に市民活動としてどのように取り組むべきかを話し合いました。

身近なテーマが多かったせいか、日頃感じていることを言葉にして参加者同士が共有することで、思わぬアイデアや具体的な解決策まで飛び出し、どのグループもまとめる時間が足りないくらい議論が白熱し、盛り上がりました。



大学生が覗いた利用登録団体懇話会

<立教大学 社会学部/佐藤さん>

大学では都市社会学・地域社会学を専攻していて、鎌倉の観光とNPOを調査対象にした卒業論文を作成するために初めてNPOセンターを訪れました。鎌倉は市民活動が活発な地域だということは以前から文献で知っていて、実際に活動をしている方々が集まる懇話会に興味をもち、今回参加しました。

まず、講師の方から指摘のあった鎌倉の魅力や問題は住んでいながら今まで気づかなかった発見が多くありました。後半のワークショップでは、普段観光とは直接縁のない活動をされている方も日頃から多方面に問題意識が高いようで、ご自身の活動に引きつけて意見を述べる様子が印象的でした。

そして、懇話会に若い人が全然いなかったことにも驚きました。私の大学にもボランティアサークルは沢山ありますが、彼らが各々市民活動と関係しているかどうかはわかりません。もし鎌倉の市民活動と学生が繋がるとするならば、観光地としての鎌倉に関心のある学生は周りに大勢いるので、観光に関連した活動であれば学生も参加しやすいかもしれません。

参加者の声

多彩な意見交換を期待して

<ヒッポファミリークラブ大船・鎌倉>

今回は3名が参加しました。世界各国での旅行や滞在経験に基づいたVicki Beyerさんの講演はとても興味深く、おもしろく聞かせていただきました。講演後のブレインストーミングでは、鎌倉市をもっと良くするために活動されている方々の多彩な意見を伺って、とても刺激を受けました。

折しもヒッポファミリークラブ大船・鎌倉では、昨年NPOセンターからのお勧めで「市民団体と鎌倉市による相互提案協働事業」に、世界がもっと身近になる講座「でいすふるたもす鎌倉」を応募し採択され、今年度「*外国語が苦手でも*大人でも子どもでも*どこの国の人にも*ウェルカムの気持ちで向き合える」をテーマに、年間10回を実施中です。「おもてなし」と区分された、鎌倉市民の世界中からの観光客への接し方に対する意見を拝見し、目指すものは同じであると感じました。アジア圏など世界のいろいろな地域の方からの視点も聞いてみたいですし、またこのような意見交換の機会があると嬉しいです。



(いろいろな意見を出し合って!)



参加者の声



(意見をまとめて発表)

懇話会で市民活動間の連携を

<鎌倉ユネスコ協会/石田さん>

鎌倉ユネスコ協会は、法人格の取得を機に、この鎌倉の地を拠点として国連の提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成の鍵となる一人ひとりに対する「持続可能な開発のための教育(ESD: Education for Sustainable Development)」を広める活動に寄与できないかと考えています。

SDGsとは、「つづかない」世界を「つづく」世界に「変革」するための目標であり、貧困など福祉に関する目標、不平等に関する目標、経済や産業・生産に関する目標、自然環境に関する目標、まちづくりやパートナーシップに関する目標など、2030年までに達成を目指す17の分野から構成されています。

鎌倉で活動しているNPO団体は、それぞれがこれらの目標と重なる活動をしており、当会と各団体または団体同士が目標を共有して繋がることができればと思います。今回の懇話会で提案させていただきました。今後の懇話会では、横(異領域)と縦(同領域)の両方のワークグループによる話し合いも企画していただけたらと思います。また、来年の「20周年特別ファンド」では団体の繋がりを活かした企画を募集すると伺い、ESDにつながることを期待しています。

次回の利用登録団体懇話会は、来年1月27日(土)です。

センターからのお知らせ

年末・年始の休館日

NPOセンターは12月29日から平成30年1月3日まで年末・年始の休館日となります。
年始は1月4日から通常どおり開館いたします。

第3回 利用登録団体懇話会を開催します

開催日時：1月27日（土）14：00～17：00
会 場：たまなわ交流センター 2階
来年度行われるセンター設立20周年記念事業の概要をお知らせいたします。団体間の交流会も予定していますので奮ってご参加ください。

講座開催のお知らせ

- 市民活動団体のためのマネジメント講座
～市民活動經理のキホン
開催日時：1月20日（土）14:00～16:00
会 場：NPOセンター鎌倉
- 市民活動団体のための広報講座
～チラシの作り方（仮題）
開催日時：2月24日（土） ※時間未定
会 場：NPOセンター大船
- 市民活動団体のためのマネジメント講座
～助成金制度の使い方・考え方
開催日時：3月18日（日）14:00～16:00
会 場：NPOセンター鎌倉

講座の報告

- 市民活動団体のためのIT講座
～Google ドライブを使った文書の作成・管理
開催日時：11月25日（土）14：00～16：00
会 場：NPOセンター鎌倉
11団体＋正会員4名で15名の参加者がありました。安全・簡単に文書の保存・共有・同期化ができる便利なオンラインストレージサービスの使い方を学びました。当日の資料が必要な方はセンターにお問い合わせください。



NPOセンター貸し出しロッカー空き状況

NPOセンター大船：ポリプロピレン製3個
NPOセンター鎌倉：木製1個
スチール製鍵付き6個
※年間使用料：ポリ製・木製500円、鍵付1000円
利用希望団体は各センターにお問い合わせください。

NPOセンターメールボックス空き状況

NPOセンター大船：2個
NPOセンター鎌倉：9個
※使用料：無料
利用希望団体は各センターにお問い合わせください。

かまくらファンド助成団体が決まりました

11月3日にNPO支援かまくらファンド審査会が開催され、助成団体が次のとおり決定しました。
（詳細は別紙の審査会報告をご覧ください。）
NPO法人 JIAOLIU 鎌倉、NPO法人 minamo、鎌倉評論
NPO法人 Art for Children's SHINE
社団法人鎌倉ドローン協会、鎌倉常盤山の会

新規登録団体の紹介（平成29年11月30日現在）

- ★NPO法人神奈川シニア自然大学校：主体的に環境活動を行う人材を育成するために、活動意欲の高い中高年層の方々を対象に、自然環境をテーマに幅広く学び、自然環境についてより強い関心を持ってもらうための講座を開催。
- ★鎌倉市民オンブズマン：鎌倉市政の風通しをよくし、情報の公開等を推進する活動。
- ★Opera Club Arioso：オペラを通じて新たな風が吹き渡るようにという願いを込めてオペラ講座「名作オペラ観くらべ・聴きくらべ」、Teatro Arioso「名作オペラ鑑賞会」をはじめ、独自のオペラ・カルチャー・イベントを企画。
- ★NPO法人不登校・発達支援ネットワーク Seeds APP：不登校や発達障がいのある子どもたちの支援をする活動（教育相談、人材育成（認定研修）、学習等支援、教材研究・開発）。

編集後記：鎌倉パートナーズを外注印刷するようになり、1年経ちました。いかがでしょうか？
Wordで原稿を作成し、PDFファイルを印刷業者に送っていますが、Wordの表現力に限界を感じてもあります。
Illustrator等のグラフィックデザインソフトを勉強して、もっと見栄えの良い広報紙に近づけるように努力していきたいと思います。(Fuji)

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町18-10
TEL：0467-60-4555
FAX：0467-61-3928
E-mail：npo@chive.ocn.ne.jp

NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台1-2-25
（たまなわ交流センター1階）
TEL/FAX：0467-42-0345
E-mail：npo2@abelia.ocn.ne.jp

平成29年11月30日現在 **利用登録団体数：352団体**

※ 利用登録団体の登録内容（連絡先・代表者・活動内容等）に変更があった場合は、速やかにお知らせください。

報告

平成 29 年度 NPO 支援 かまくらファンド公開審査会

17 回目を迎えたかまくらファンド公開審査会が、さわやかに晴れた 11 月 3 日、たまなわ交流センターで開催されました。

「かまくらファンド」は、市民の方々からの温かいご寄附により、鎌倉で社会貢献活動を行う団体を支える資金です。今年度の応募団体は 8 団体。熱い思いのプレゼンテーション、審査委員との質疑応答の結果、別記のとおり 6 団体に助成をすることになりました。

また、午前中には昨年度受給の 5 団体による活動成果報告がありました。審査委員や会場から数多くの質疑があり、中身の濃い充実した報告会になりました。

応募された団体の皆様、審査委員の皆様、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。



審査会の様子



《ご寄附いただいた方々》

- ・松本行政書士事務所 様
- ・北鎌倉湧水ネットワーク 様
- ・腰越まちづくり市民懇話会 様
- ・サントガーレン有限会社 様
- ・NPO 法人鎌倉みどりのレンジャー 様
- ・ファンド募金箱・玉手箱にご寄附
いただいた多くの市民の方々

《審査委員の皆さま》

阿部芳子（鎌倉友の会常任委員 公共担当）

稲田秀樹（一般社団法人 かまくら認知症ネットワーク 代表）

大津理津子（鎌倉検定市民の会 代表）

熊澤隆士（鎌倉市 市民活動部 次長）

野口 稔（北鎌倉湧水ネットワーク 代表）

（敬称略）



■コラボでさらなる発展の予感

野口稔（北鎌倉湧水ネットワーク代表）

11月3日に開催された平成29年度『NPO支援かまくらファンド審査会』に審査員として参加、審査委員長としての講評を担当させてもらった。今回の助成総額は40万円。応募が8団体と例年より少なかったが、国際化、ゴミ処理、まちづくり、共生・文化、新技術の活用、少子化、情報、自然・景観・歴史保全の観点から、貴重かつ意欲的な提案がなされた。このため、「応募した8団体全部にファンドを差し上げたい」というのがわたしを含めた5人の審査員全員の気持ちだった。しかし、①社会性・公益性②計画性・実現性③継続性④意欲⑤新しい視点—の五つの審査基準に基づいた採点の結果、得点の多かった上位6団体への助成が決まった。助成金の配分は最高点の一般社団法人鎌倉ドローン協会に10万円、次点の鎌倉常盤山の会とNPO法人minamoにそれぞれ9万円、4～6位の特定非営利活動法人Art for Children's SHINE、NPO法人JIAOLIU鎌倉、鎌倉評論にそれぞれ4万円。鎌倉常盤山の会は計画作製にドローンの利用を考えているという。鎌倉ドローン協会とのコラボも可能であろう。団体相互のコラボが市民活動の発展につながる予感がする。



	応募の活動内容・助成金の使途
一般社団法人 鎌倉ドローン協会	鎌倉ドローン体験飛行教室に使用する体験機・付属品の購入
鎌倉常盤山の会	常盤山の本来あるべき植生を取戻し、市民が散策し、子どもたちが遊びまわる場所にするため、官民の壁を越えて多くの関係者が結集できるマスタープランの策定、官民協働の仕組みづくりのための活動。
NPO法人 minamo	第6回鎌倉市まちづくりプランコンテストの運営費の一部
特定非営利活動法人 Art for Children's SHINE	鎌倉児童ホームで実施する「作品展」「ワークショップ」の施設利用費、告知用チラシ制作費、画材材料費等
NPO法人 JIAOLIU 鎌倉	生徒・学生を対象とした多文化共生社会の人材育成及び鎌倉の魅力発信 ① 言語観光ボランティアまち案内体験 ② 多言語観光ボランティアまち案内養成講座、通訳、翻訳技術の習得等
鎌倉評論	年間の新聞発行活動のための資金